第1号

毎月1回15日発行

発行所
秋田県北秋田郡森吉町役場

編集責任
総務課

森吉役場　TEL 米内沢 64番 44番

十二月定例町会

十二月定例町会は十二月三十午前十一時から出席者二十二名欠席者四名で役場で開かれ町職員の給与改正条例など二十三議案に付いて当局より提案理由の説明をして午后二時散会した

尚町会も正月の爲一月九日迄自然休会になるので十日午后一時より再開会して議案を二日に亘り審議全部原案通り可決す

◉議案題名

1 森吉町職員の給与に関する条例の全部を改正する条例案について
2 單純な労務に雇用される職員の給与の種類及基準を定める条例案について
3 森吉町特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について
4 森吉町職員の特殊勤務手当に関する条例案について
5 森吉町公平委員会の事務を秋田県に委託することについて
6 森吉町と秋田県との間の公平委員会の事務の委託に関する規約について
7 工事請負契約について
8 町債借入及び償還方法について
9 町税減免について
10 砂防会館建設資金について
11 併用林道申請について
12 寄附採納願いについて
13 土地改良事業承継について（細越頭首工）
14 土地改良事業承継について（森吉頭首工）
15 監査委員選任の同意を求めることについて
16 國民健康保険運営協議会委員選任の同意を求めることについて
17 財産區管理会委員選任の同意を求めることについて
18 財政再建計画変更の承認を求めることについて
19 昭和三十二年度森吉町一般会計才入才出追加更正予算案について
20 昭和三十二年度森吉町國民健康保険特別会計才入才出追加更正予算案について
21 昭和三十二年度森吉町國民健康保険直営診療所特別会計才入才出追加更正予算案について
22 教育委員会委員選任の同意を求めることについて
23 固定資産評價審査委員会委員選任の同意を求めることについて

我が町の土木事業

総体面積が大きいだけに部落も七四部落に別れて甚だしく散在しているのがわが森吉町で、其の距離は原則として前田に置く

たとへば共済、農協、農業委員会、教育委員会公民館、家畜市場の如くだが「教育委員会は産業機関ではないが現在前田にある事実からそのまゝ認める」

「家畜市場は同一町村に二つであるからこれを前田にゆづることにする」

「前田には勧業課及土木課長又は補佐を置き其の方の中心とする」

「副収入役、税務、総務係等の配置もする」

「助役を二名置くを希望するな迄町村ではあるが妥宜を図つてやる事の言」

「林業事務所や普及事務所等の機関もやる（知事の）」

「議会の開催はでも適宜開いてもたいい」

「町長は紛争のを考へ善處されたい」

「今后は一切の殘さないこと」

×　×

我が町の土木事業

程を見ても米内澤本廳を起点に前田奥地の平田部落迄三四粁で、米内澤地区大澤迄九粁合計してなんと四三粁のようなが形ちになつるのがわが森吉町で

阿仁川、小又小様川に数々の橋梁り各部落に架設される小橋を入れて五ヶ所となり橋の多いの系下一で毎年補修されぬ事額も馬鹿にならな其の外付替道路の補水雪に依る災害工事新設事業等で、いくつてもやりきれないあるのが、わが町の事業であります

昭和三十二年の完成工事を見ても

1 県道桂瀬線路欠壊による補修完成
2 桂瀬橋部落砂利散布十月完成
3 鶴田線橋補修十二月完成
4 町榮線及大兵杉線砂利散布並に一月完成
5 石坂、大淵線新設工事十二月完
6 本城線砂利散布十二月完成
7 大俗橋補修工一月完成
8 卷淵橋補修工月完成
9 新屋布内水路六月完成
10 根森田部落内道路八月完成
11 発電所橋工事月完
12 中新田線砂利散布工事十月完成
13 松葉開拓道路砂利散布十一月完成
14 横町橋災害復旧工事十一月完成
15 摩当澤線災害復旧工事十一月完成
16 森吉、根森田上悪戸地内土砂切工事十二月完
17 新町、裏町線暗渠及橋梁補修工事十二月完成

以上の如く其の他土地の買収等の完成も有り今だ三十二年度で未完成のもの

1 大町井戸移転工事
2 寄延暗渠工事
3 摩当澤線砂利散布工事
4 五味掘橋補修工事

我が町の実体

わが森吉町は阿仁部の中心地に座を占て七四部落が連座して総面積三四、二、九五町歩と言うなんと河邊郡の一郡の面積をはるか上廻つている

のがわが町です。皆さんが良い町造りをする爲めには町の実体を十分に知る事です

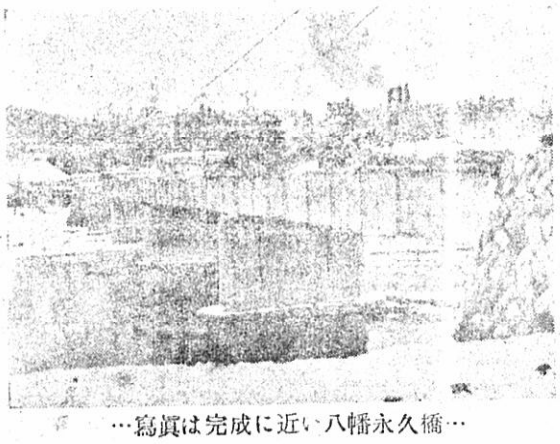
次に総体種別を明記する

		反
一、総面積	三四・二九五〇・〇	
一、田地	一・〇九〇五・五	
一、畑地	五〇九〇・〇	
一、焼畑	三〇・〇	
一、山林	六・五六七・〇	
一、原野	五・〇二九〇・〇	
総世帯数	二・六八一世帯	
一、農家戸数	一・三五二戸	
一、一般世帯	一・三九世帯	
一、総人口	一六・〇二八人	
一、農家人口	九・八三五人	
一、一般人口	六・二九三人	
一、商店数	一八一戸	
一、工場数	二七内製材工場一三工場	

橋久永田前む進々着

待望の前田八幡橋は町民の熱意で県当局も特別に取り上げ森吉町始めての永久橋が實現、下部工着手は昨年九月より北林組で施工上部工は大阪汽車製造株式会社で着手、現在八〇%に近い進工振りで地元民は心からよろこんでいる

総延長九六米　巾六米
下部工費　六、三〇〇、〇〇〇円
上部工費　一七、六〇〇、〇〇〇円



…橋久永八幡八い近に成完完は眞寫…

公民館だより

一月行事の計画

森吉町公民館では年間大要の行事計画を立てい一月分の部門別計畫は

総務部
1、名刺交換会の開催
2、成人式開催
3、移動公民館から小瀧部落迄延長され結果になるので地元民実際利用價値が半減される計画中である

産業部
1、農業簿記研究大会
2、産業研究発表大会
3、四H クラブ外連絡協議会

教養部
1、書初大会
2、將棋、囲碁に添へたいと厚意ある返事を得て同工事に対する明るい見通しを受て歸町した、尚併用林道中にある鷲の瀬橋も腐朽甚しくこの材料拂下等も同時に陳情の結果、併用林道中にある爲金額工事を管林局に陳情接渉致したところ、出來る限り御希望に添へたいと厚意ある返

壮会部
1、貯蓄思想座談会
2、新生活運動推進の会開催
3、町民スキー大会

青少年部
1、かるた大会
2、成人式行事協力
3、移動公民館への協力

青年学級
1、花嫁作法学習会
2、成人感謝の会
3、県北青年雄弁大会

婦人学級
1、育児研究ざだん会
2、婦人の生活記録座談会
3、計画産児講習会

委員会
1、各文化サークル会員新募集運動展開
2、新生活運動推進の会に協力
3、移動公民館への協力

見通しが付いた小又奥地林道

かねて県案の森吉町奥地開発の計画主幹である併用林道の延長工事は昭和三十三年度計画として一、五〇〇米延長の予定で内示が有りましたが三十二年度工事終点より一、五〇〇米では小瀧部落の前で工事が終了するので、そうなると実際利用價値が半減される結果になるので地元民から小瀧部落迄延長されたいと町当局に強い要望が有り、当局も議会もその熱意を吸み取る十二月十六日町長、助役並に議長　土木委員長と地元代表者一行で秋田営林局に陳情接渉致したところ、出來る限り御希望に添へたいと厚意ある返事を得て同工事に対する明るい見通しを受て歸町した、尚併用林道中にある鷲の瀬橋も腐朽甚しくこの材料拂下等も同時に陳情の結果、併用林道中にある爲金額工事を管林局員担で三十二年度並に三十三年度に於て、新橋梁補修工事十二月完成以上の如く其の他土地の買収等の完成も有り今だ三十二年度で未完成のもの

1 大町井戸移転工事
2 寄延暗渠工事
3 摩当澤線砂利散布工事
4 五味掘橋補修工事

議会一致解決された

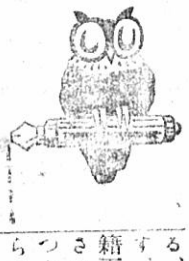
一月十日より再開会の議会は二十三議案審議する前に去る六日最終解決を見た役場、位置問題知事調停案　等の経過報告を金澤部副議長より細部に亘り報告されたが、其の内容に私見も入つた喰違う点も有り春又三浦議員より補足説明が有り日議員より補足説明が有り私見喰違の線を追求重大視して議場も一寸、不安の空気となつたが佐藤新議員並加賀議員より、一時休会して協議会をもつて話し合致したい発言で協議会に入り、町長より知事調停に依る、諸条件を（町長筆記のもの）発表、会員それを再確認してこゝに八ヶ月に亘る役場位置問題が議会一致異議なく解決された、尚其の諸条件内訳を次に述べる

一、役場位置は原則として前田に置くべきだが現實の形勢からすれば必ずしもそうとばかりも云へぬから現状のまゝ棚上とし当分の間米内澤に置くこと。これは大きな合併とゝもに、にらみ合せてのことである

二、財政行政の中心は米内澤、産業経済の機関

置位場役

ヒゲの戸籍から



わが役場に來ると才一に目に付くのは戸籍の窓口です、厳しいヒゲをたくわへた重役級か課長級の立派な口ヒゲのおつさんか事務をとつている、それが本廳に行つても支所に行つても一日中揺ない体制で皆さんを待つている、本人は致つて親切ですヒゲに恐る事なく戸籍面は何んでも聞いて下さい、一寸と戸籍簿をおつさんに見せてもらつたらこんな記録が出て來た

昭和三十二年度死亡者
一二二名
昭和三十二年度出生者
二六三名

こんな具合に一年に生れる人が多くなると益々今う爲の増産を私達は考へなければならなくなつた

扶助支給

生活保護法に依る保護費支給（十二月分）

生活保護世帯	四九戸
〃　人口	二二四名
扶助費内訳	
生活扶助	
一七〇、八二五円	
住宅扶助	
一、四五〇円	
教育扶助	
一一、一七七円	
計　一八三、四五二円	

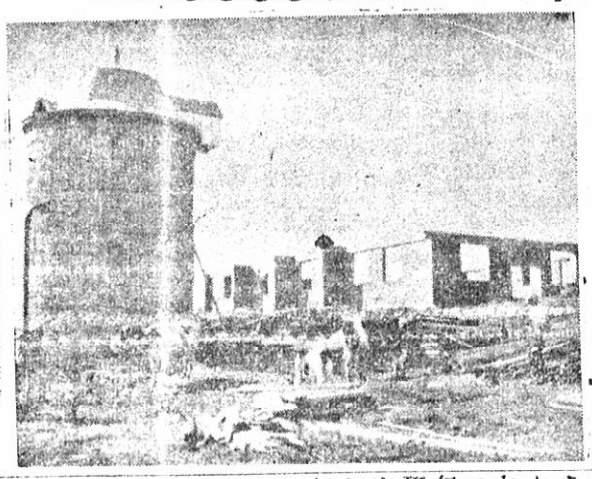
×　×

わが町の集約酪農計畫

今ぢ夢のようでも有り昨日の出來事でもあるかのような、既に一昔余の世界大戰も日本の敗戰に依り見事終結となつた、昭和二十年九月二日は降服が調印され日本の政治経濟はもちろん国内の行政權が当時の最高司令官統治のもとに日本の大改革が実現された、其の基本たるや先づ民主化に重点が置かれ憲法改正は言うまでもなく法律の刷新と共に農業経営も大改革がもたらされ地主制度が廢しされ自作農創設特別措置法に依る土地の買収賣渡し計画が徹底的に実施されたので有ります。

それに依り農家経営もかなりの変化を見、生活改善も年々其の実現化されて、やれ〳〵ほつと息を吹き返したようでも有りましたが生活程度と文化の向上に依る又々農家経営も單作地帶として必ずしも樂なものではなくなつた。

景風野牧



…寫真は千葉農場…

其の爲国でも県でも今回特に單作地帶の農家に呼び掛けたのは酪農経営で、憲法や法律は国会議員多数の如何で一夜の内に切替変更も出來るが農家の皆さんとしては、なかなか〳〵酪農に切替は至難と思いますが、時代の変化と平行して、この計画に十分に耳をかたむけて

県の酪農計画のトップを切つて理想的酪農地帶に進出致したいものと町民の皆さん、農家の皆さんにお進めする次才です

それで昭和三十二年度に於て農林省から指定になつた米代中流集約酪農地域の振興計画に依り、わが町の特有的条件を基礎として振興を計る事になり、ごらんの通り單作地帶の農家経営を安定させ其の発展に努力、即ち農業経営を改革し更に近代化せんとする施策が要請されて居り森吉町の施策としては酪農建設委員会を構成す、基本方針として下部組織に酪農建設青年協議会、グループ酪農研究会の活動を促進せし常任委員会と直結計画を実行致す、計画の最終年次の（昭和三十八年）に於て保有乳牛八〇〇頭を目標とし米内沢大野台地区に重点に飼育す、草地資源の高度利用を圖り六年次に於て各部落に一八〇町歩を高度集約牧野として経営せしめてサイロは六〇〇基を建設冬期間の飼料確得を圖り畜舎改造は二五〇棟とす、新築五〇棟を計画す、年間九、三六〇石の牛乳生産に邁進致し度以上を町民の皆さんに町報をもつて是非お進めする次才です

而し其の乳牛を導入するに一番よい方法として、こんな方法が待ち受けて居ります。次にその計画表を記入する

（1）乳牛導入計画と資金関係

1、導入計画頭数（下三年より三十八年）六約〇頭

2、一頭平均價格六、〇〇〇円

3、負担方法　金額賣

（4）サイロ設置金関係

サイロ設置は三十年より三十八年迄六〇ット で一セット分の設賣、サイロ一〇基分

（5）畜舎新築改造事業計画

有畜農家創設事業導入計画として一、藤と三〇〇〇円、カッタ一台三〇〇〇円、合計二一〇棟として一棟平均二〇〇〇円になり、負担分を申すと県補助五%、六、〇〇〇円其の内融資一頭分担分一〇、五〇〇円町補助五%一〇、五〇〇円で融資します。

尚新築計画は三十三年より三十八年迄五〇棟として一棟平均一〇〇、〇〇〇円です其の内融資八〇〇〇円自己資金二〇、〇〇〇円です

（2）乳牛導入補助事業による計画

一頭分平均價格八〇〇〇円三十三年より三十八年迄一二〇頭の増で一頭分の平均負担賣五六、〇〇〇円の自己資金一四、〇〇〇円、補助五、〇〇〇円、町助五、〇〇〇円です

（3）開拓者導入案による計画

昨年十月二十八日午后一時より本廳会議室に於て各地区代表並団体代表約四十名出席、米代中流事務局から野呂局長臨席酪農計画の基本方針並規約の審議及び種々案件を審議して委員又は常任委員を選任、こゝに森吉町の集約酪農振興計画に依る酪農建設委員会が新発足した

酪農建設委員会

新發足する

委員氏名

森吉町議長　加賀　忠太
〃　議会産業経済委員長　佐藤新一郎
〃　農業委員長　櫻田　太助
〃　本城農協長　庄司徳太郎
〃　前田農協長　三浦　伝治
〃　米内沢酪農長　磯谷　仁吉
〃　米内沢本郷部落　佐藤富郎
〃　日榮　千葉忠雄
〃　米畑　佐藤　直治
〃　米内沢農協青年部長　片岡徳次郎
〃　前田畜産副組合長　九嶋　忠蔵
〃　米内沢共済　庄司　順治
〃　前田共済　金　逸郎
〃　米内沢森林組合長　庄司宥二郎
〃　前田　〃　鈴木　雄一
〃　大野台開拓農協　金　兵一郎
〃　本城部落　武石直治
〃　向本城　九嶋雄治
〃　鶴田　椙岡又右エ門
〃　長野　武石東蔵
〃　根小屋　九島喜代治
〃　松榮　泉谷孫左エ門
〃　大澤　細田喜三郎
〃　中新田　石崎清一
〃　浦田　石崎易五郎
〃　寄延　三浦　富雄
〃　前田青年会長　近藤　貴美
〃　米内沢婦人会長　佐藤　玉江
〃　前田婦人会長　土佐市重郎
〃　北秋畜産理事　吉田　常蔵
〃　前田畜産組合長　木村　壽夫
〃　米内沢青年会長　奥山小七郎
〃　大淵部落　畠山久治
〃　白坂　加賀貞治
〃　桂瀬　庄司鉄之助
〃　前田　春日武
〃　五味堀　森川福治
〃　小又　三浦一美
〃　根森田　酪農建設委員会事務局長　九嶋　喜蔵
経済課長

経済課より

工業統計調査

実施主体通商産業省、実施期日昭和三十二年十二月三十一日、目的我が国の工業の実態を明らかにして政府の産業政策の基礎資料とす、調査対象、製材工場、印刷工場、菓子製造、卸賣業者、その他調査方法、調査員が工場を巡回して調査票に所定の記入を求める

冬期農業調査

実施主体秋田県、実施期日昭和三十三年二月一日調査対象、森吉町の全農家について調査す。調査事項、家畜飼育頭数、農作物収穫高、肥料消費高その他、調査方法、各部落担当の調査員が、農家個所があつたら役場へ御相談下さい。

昭和三十二年産米賣渡促進

予約数量が殘つている農家は、二月中に賣渡を完了しましょう。

たね籾の販賣

（一）たね籾を農協で賣しています、古い種をいつまでもくりかへていると減収します。年に一度はたねをとりへるようにしませう、及事務所などに相談し新らしい品種を、とりることも必要です。

たね籾の希望者は、代（一升七〇円）入れ物参して農協から購入し下さい。

（二）大豆の優良種子販賣いたしますから、だ申込んでいない農家すぐ役場、（又は農協へ品種名と数量を申込で下さい、申込は三月で打ち切りますから、望者は必ず二月中に申んで頂きます。

牛馬の移動について

牛馬の飼育者は、出生、死亡、賣却、買受けなの異動の都度、役場へけて下さい。

仔畜検査を受けない牛は勝手に賣却出來ませ仔畜検査を受けない牛を賣却した者は處罰されます。

住民レントゲン

◎間接撮影◎

（衛生係）

昭和三十二年度一般住民レントゲン間接撮影各落巡回として、前田地は十月七日より十八日米内沢地区として、十月十一日より十一月二八日迄それぞれ実施

受診した者、米内澤地で一、三七五人、前田支所で一、七六八人、計一四三人、総体人口六、〇二八人の内、一より五才迄の適用外と小中学童計六、九三四名差引して九、〇九四人となり此の度の実施で受診者三、一四三名とすると全だ受診せぬ者五、八五名で、受診率三五%となります。

三十三年度には皆さん非受診されるよう願います。

税務の窓から

町造の才一歩は何んと言つても納税です。議会で予算化され、いかなる事業が計画決議されても、其の実行を左右するものは財源で有り共の財源確保するには徹底的納税の促進です。

皆さんが税金を取られた〳〵とさもたゞで海か川に投げた感をもつて日常こぼしているように見受けるが、これは取られたでなく税金額の納入令書が各戸に配布になつたら、其の期日迄納付するのが国民としての重大な義務になつている事を皆様は知つているのです。而し一應こぼしたくなるのはその税金です、と言うものゝその税金を滯納した場合を窓口より聞いて見ると、吾が町はあらゆる分野に於て他町村よりをくれる事です。おれの家は滯納金百円位だとか千円位だと言つているが假りに一戸千円の滯納額が有るとする場合全町合計して二、六八一、〇〇〇円なり議会で予算化された重大な事業も理想的施設も教育文化も、それ〳〵の立場で停滯する結果になります、交通網の完備はもちろん理想的諸施設の完設は一人々々の納税真念に依るものであり皆さんの町造の協力はこゝにあるのです。

一期分二期分と滯納すると納入の際に多額になり益々苦労致しますから、年間四期に分けた税金額が（納入令書）配布になつたら速時わが町役場にお出下され不番の点は税務係にきいてお納め下さい。

都合で米内沢本廳に納入してもよし又前田地区の方は前田支所で、森吉奥地は森吉支所で取り扱つて居りますから何卒御協力のほどお願い申上げます。

この税金だけは町民の皆さんも御承知の如く国民の義務で森吉町に限らず、どこへ行つても日本の国に居住して一定の所得があり、田地家屋を持つて居る限り誰れでも果さなければならない努めです。吾が町の滯納金を見ると昭和三十二年度一、二十八日現在十一年度以前のもの百万円余で、三十一年度（現年度）分納のもの七百余万円なります。此の滯納町造も町の運営もない結果になります現年度国民健康保険だけでも其の納期もの三百余万円にて居り、それでも、後才二次滯納整理二月十六日より二日迄行い大成績ました米内澤地区各部落に納税貯蓄組織して計畫的収方法を実施、九の成績を上げてい前田地区の場合も近々部落代表会議を開催納税貯蓄組合を組織して、皆さんが早く樂に納入出來る方法に致したいと考へて居ります。

次に今月未納期分は左記の通りです

町県民税　四期　一月三十一日
保険税　〃　〃

限りです。

◎税務課では現在家屋調査を実施中です御協力下さい。

×　×　×　×